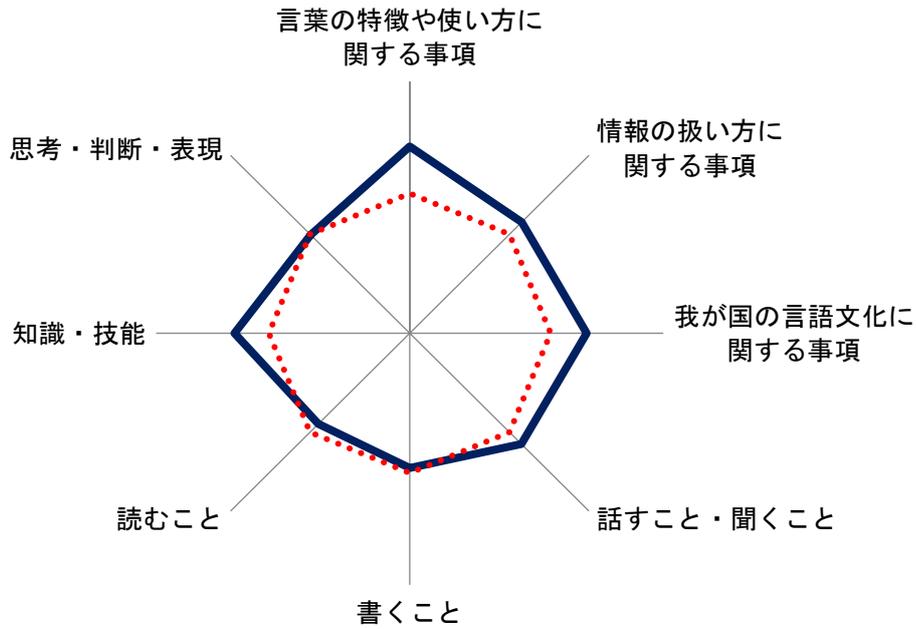


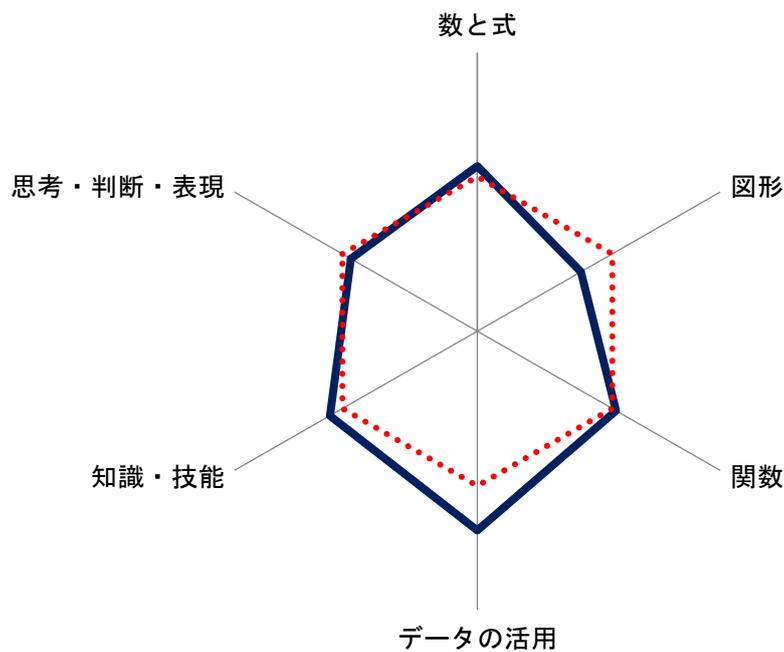
○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

【国語】

— 宇和島南
..... 全国平均



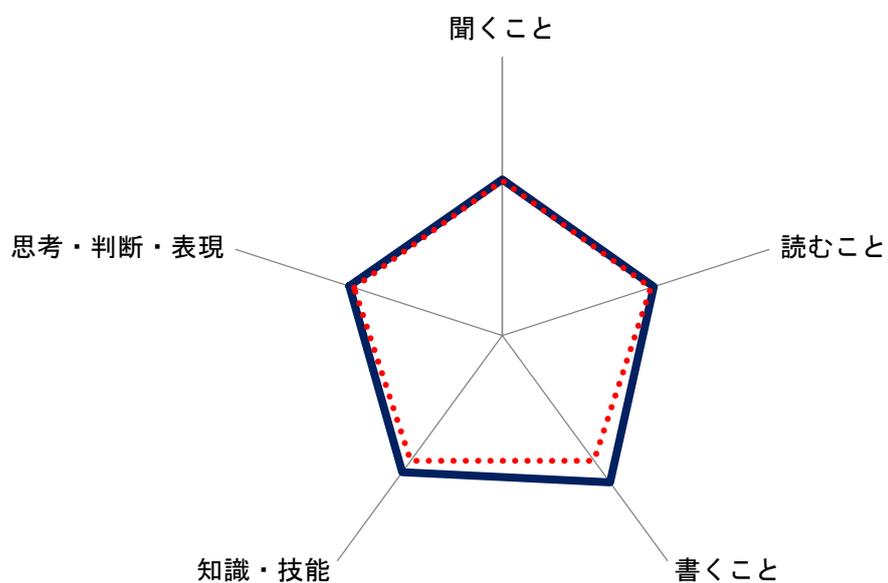
【数学】



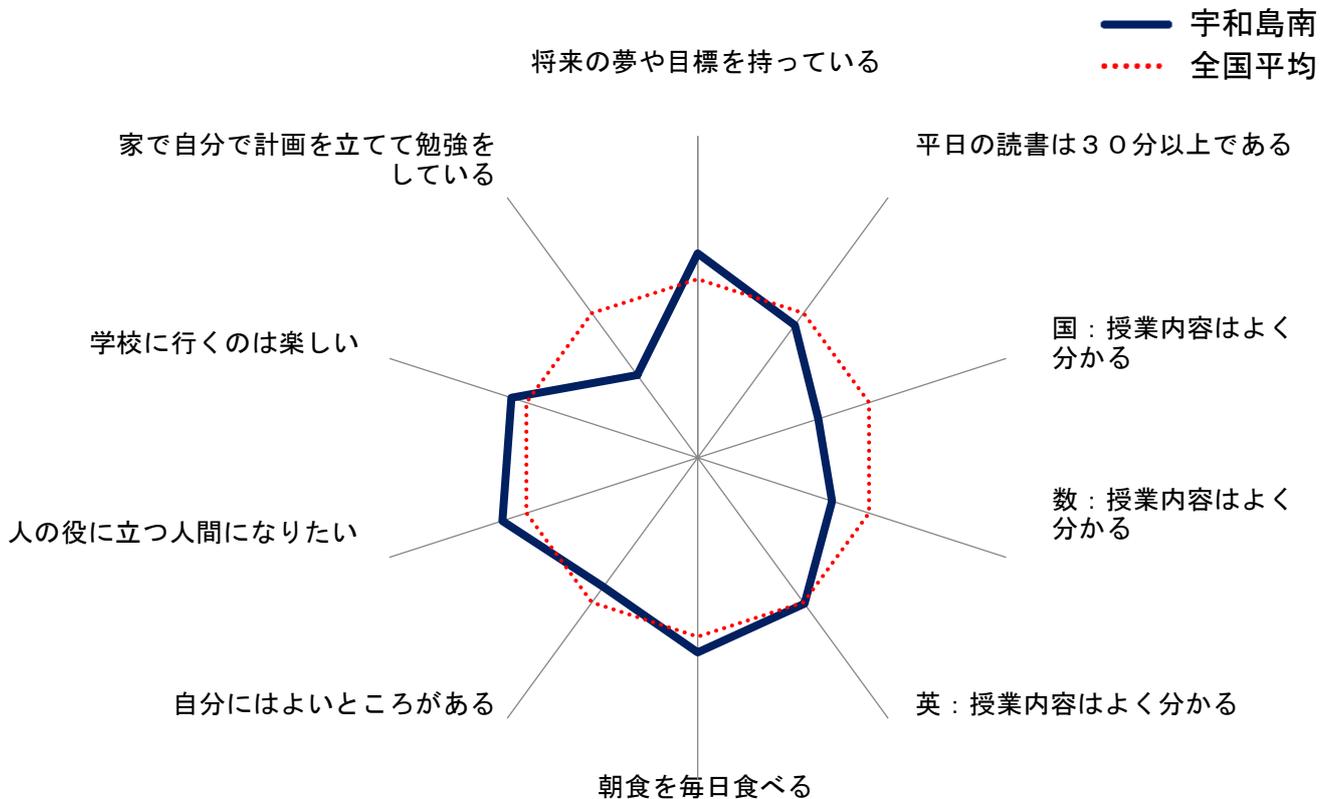
○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

【英語】

— 宇和島南
..... 全国平均



○ 生徒質問紙調査 (全国の平均回答率との差: 肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

【国語】 正答率について「言葉の特徴や使い方に関する事項」は8ポイント以上、「わが国の言語文化に関する事項」「知識・技能」は6ポイント以上全国平均を上回っているが、「読むこと」「書くこと」「思考・判断・表現」で若干ながら全国平均を下回る結果となった。「国語の授業の内容はよく分かるか」という質問に対して肯定的な回答が全国平均を7ポイント以上下回っている。詳しく見ると「どちらかというと分かる」は全国平均より若干低い程度だが、「よく分かる」が6ポイント程度低く、「どちらかというと分からない」が7ポイント程度高くなっている。生徒の実態に合わせて適切な到達目標を設定し、全ての生徒が分かる授業を目指したい。

【数学】 正答率について「データの活用」は7ポイント以上全国平均を上回っているが、「図形」は6ポイント程度下回っている。今後、ICTを利用し、より視覚的に捉えることができる授業を展開したい。「数学の授業の内容がよく分かるか」という質問に対して肯定的な回答は5ポイント以上全国平均を下回っている。「よく分かる」が9ポイント程度低く、「分からない」が4ポイント弱高くなっている。すでに習熟度別授業を実施しているが、下位層とともに上位層の理解度を向上させるため、さらなる実施形態の充実を検討していく必要がある。

【英語】 正答率は全領域・観点で全国平均を上回った。しかし、「書くこと」の4ポイント以上を除けばそれほど大きな優位性はなかった。すでに生徒の実態に合わせて習熟度別授業を取り入れているが、今後、実施形態の更なる拡充を検討する必要がある。また、ALT配置校となっていることを活かし、チームティーチングによるきめ細やかな指導を充実させていきたい。

【生徒質問紙】 「将来の夢や目標を持っている」「人の役に立つ人間になりたい」は3ポイント以上、「朝食を毎日食べる」「学校に行くのは楽しい」は2ポイント程度全国平均を上回っているが、「自分には良いところがある」は3ポイント弱、「家で自分で計画を立てて勉強している」は11ポイント弱も全国平均を下回っている。定期テスト時に計画を立てて家庭学習に取り組む習慣を身に付けるとともに、日々の予習・復習も計画的に取り組めるよう指導する必要がある。また、生徒が多くのことにトライし「できる・できた」経験を積み重ね、自己肯定感が高くなるよう指導したい。